

## 令和3年度障害者差別解消法セミナーの実施報告について

区民を対象とした障害者差別解消法の普及啓発セミナーについて、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、区立障がい者福祉センターとの共催により、以下の通り、講演動画を Web 配信した。

### 1 セミナー概要

講演タイトル	「誰もが大切にされる世の中に」
講師	藤木 和子 氏 弁護士・聞こえないきょうだいをもつ SODA ソーダの会代表
申込期間	令和3年12月27日（月）～令和4年1月13日（木）
配信期間	令和4年 1月17日（月）～令和4年1月31日（月）
配信媒体	板橋区公式 YouTube チャンネル「チャンネルいたばし」
動画内容	約 90 分間（字幕・手話通訳あり） （1）障害者差別解消法の歴史【15 分】 （2）法の施行で何が変わったか、建設的対話とは、 不当な差別的取扱いの禁止【30 分】 （3）合理的配慮の提供、正当な理由とは、過重な負担とは【15 分】 （4）意思決定、表明への支援【30 分】 （5）権利擁護部会 田中恵美子 会長 コメント 区立障がい者福祉センター 山口悟 所長 コメント 障がい当事者が語る今の社会の合理的配慮【3 分】

### 2 周知方法

- （1）区ホームページ内、障害者差別解消法ページへの掲載
- （2）広報いたばし、高島平新聞への掲載
- （3）チラシの送付（区民事務所、ふれあい館、健康福祉センター、福祉園、福祉事務所、図書館、区内障がい者支援機関等）

### 3 視聴実績等

申込者数	65 名（属性不明）
視聴回数	145 回
その他	視聴する環境が整っていない方に対する配慮として、区立障がい者福祉センターへの直接申込・視聴を周知したが、問い合わせは無し

## 4 アンケート結果

申込時に自動返信されるメールへ、Web アンケートの URL を掲載。視聴後、任意で回答いただく形式とした。

### (1) 回答者数

10 名（回答率：15.4%）

### (2) 設問に対する回答

#### ①年齢

- 20 歳未満… 0 名
- 20 代………… 0 名
- 30 代………… 2 名
- 40 代………… 5 名
- 50 代………… 3 名
- 60 歳以上… 0 名

#### ②お住まい

- 板橋区内…………… 3 名
- 東京都内（板橋区除く）… 2 名
- 他道府県…………… 5 名
- その他…………… 0 名

#### ③あなたの所属

- 企業…………… 3 名
- 福祉関係…………… 5 名
- 医療機関…………… 0 名
- 行政機関…………… 2 名
- 学生・学校関係者… 0 名
- 当事者・家族………… 0 名
- その他…………… 0 名

#### ④セミナー情報の入手元

- チラシ…………… 3 名
- 広報いたばし…………… 0 名
- 高島平新聞…………… 0 名
- 区ホームページ…………… 0 名
- 障がい者福祉センターホームページ… 0 名
- その他…………… 7 名（知人・会社・障がい者福祉センターからの紹介）

## ⑤講演内容

- 大変参考になった…… 8名
- 参考になった…………… 2名
- どちらでもない…………… 0名
- 参考にならなかった… 0名

## ⑥申し込まれたきっかけをお聞かせください（自由記述）

- ・企業として新たに障がい者雇用を検討している。障がい者の雇用が現在ないため、企業側として必要な理解や知識等を学びたく、申し込んだ。
- ・在籍中の企業にて障がい者の雇用を推進中であり、知識の深耕を図るため。
- ・当社において障がい者雇用への取り組みが開始されたため。
- ・視覚障がい者と関わる事があって、障がい者についてもっと知りたいと思ったため。
- ・仕事上、差別解消法に関わるため。

## ⑦講演内容の感想をお聞かせください（自由記述）

- ・身近に障がい者の方がいないため、どのような配慮（調整）や考え方が必要かなど、平等に共生していく観点から学ぶことができました。雇用を検討するにあたり、様々な調整が必要になると思うので、セミナーでお話しのあった内容を踏まえて、従業員への教育や理解が深められるきっかけになればと思う。
- ・当事者目線でとても分かりやすい内容だった。事業所内の職員にも紹介した。
- ・これまで仕事上、合理的配慮という単語を使用してきたが、少し違和感があった。確かに合理的調整の方が感覚に近いと感じた。また、環境の整備、UD との違いも説明を聞いて初めてなるほどと思った。
- ・非常に勉強になる内容だった。障がい者関係の法律の来歴について、時系列で分かりやすく学ぶことができた。特にオリンピック・パラリンピックの手話通訳中継の話が興味深く、難しい問題だと思った。現状よりも更に高みを目指すため、万人にとってのより良い着地点を常に模索し続けていくことが重要だと感じた。そのために、互いに『伝える』こと、『伝える力』の大切さを学んだ。
- ・合理的配慮について「自分だったらどう判断するだろう」と考える時間となり、大変有意義でした。
- ・とても分かりやすかった。障害者差別解消法と聞くと、障がい者を優先させなさい！というイメージを勝手に思っていたが、全ての国民が尊重される事が前提で、出来る範囲での配慮、調整を求めている事がとても優しく感じられた。障がい者だけでなく、どんな人とでも対話は重要。理解する努力が配慮の源になると感じました。
- ・藤木講師の法律を日常の観点から解釈する流れが大変わかりやすかった。
- ・お互いにより良い方法を考えていく事が合理的配慮である事を改めて学ぶことができました。自分で「嫌だ、助けて」と言えない障がい者の方に対して、意志を探りニーズに繋げていく事の必要性を改めて感じました。

- ・同意できる部分が多くあった。一方で、自分の意志が伝えられない方の代理として親御さんの意見が強く、それが本当に本人の為なのかを改めて考えさせられた。

#### **⑧その他、ご意見や感想があれば自由にお書きください（自由記述）**

- ・障がい当事者の会話部分の音声はやたら大きくて耳が痛くなりました。あの部分だけ音声を調節してほしいです。
- ・障がいのある方にも配慮された講義のスピードであると思われるが、把握するのが難しかった。
- ・日々の支援業務では様々なケースがあり難しいことが多いが、障がいのあるなしに関わらず個人個人が平等に、との基本的な考えを意識していきたいと感じました。
- ・行政でこのような無料セミナーを企画していただけることを本当に有難く思います。
- ・このようなセミナーの案内をいただきありがとうございました。入力アドレスがわかりづらかったので次回改善していただけると助かります。

### **5 成果や効果**

- ・初のオンライン開催だったが、字幕あり、手話通訳ありの動画を作成することができ、申込時から視聴終了時まで、ほぼトラブル無く実施することができた。
- ・藤木講師の体験談を交えた法の解釈と説明、丁寧な伝え方などから、当事者目線でわかりやすい講演動画が完成した。
- ・昨年度開催した対面形式のセミナー参加者数 34 名に対し、申込者数、視聴回数を比較すると、より多くの方にこの取り組みを知っていただくことができた。
- ・アンケートから、「障がい者の方の意志を探りニーズに繋げていく事の必要性を改めて感じた」「互いに『伝える』こと、『伝える力』の大切さを学んだ」などの意見があり、法の理解含め、行動変容のきっかけとなる学びがあったことが伺える。
- ・アンケートから、企業の方が研修目的で活用されたことが伺え、障がい者雇用の促進にも繋がっている。

### **6 次年度に向けて（事務局案）**

#### **（１）ターゲットの設定**

上記アンケートから、“障害者差別解消法に対する民間事業者の興味・関心が高いこと”、また、障害者差別解消法の一部を改正する法律の概要の公布（2021 年 6 月 4 日）に伴い、公布日から起算して 3 年以内に“民間事業者において合理的配慮の提供が義務付けされること”を踏まえ、令和 4 年度のセミナーは、民間事業者の理解に繋がる内容を含めて検討する。

#### **（２）講演内容**

- ・障害者雇用促進法と結び付けた講演内容及び講師選定
- ・（動画配信の場合）構成や時間配分の再検討

### **(3) 周知活動**

- ・ 就労支援部会や商店街連合会への周知活動の協力依頼
- ・ 「障害者週間（12 月上旬）」に合わせた実施（配信）
- ・ 区内各地域に設置している掲示板への掲載

※毎年 11 月下旬に障害者週間のポスターを区内各地域掲示板に掲示しているため、ポスターの一部に障害者差別解消法セミナーを組み込む。